

2026年度海外派遣プログラム募集要項

法学政治学研究科附属法・政治デザインセンターでは、2026年度海外派遣プログラムの参加者を募集します。参加希望者は、締切までに応募手続きを行って下さい。

<派遣時期>

法科大学院修了生は2026年7月下旬から10月まで（派遣時に在学中の場合は原則として9月末まで）の間の約1ヶ月（派遣決定後に、先方と派遣者の間で調整します。）、総合法政専攻博士課程在籍者は個別相談に応じます。

<費用>

往復旅費および滞在費として、一定額を支給します。場合により一部自己負担をお願いする可能性があります。派遣が確定した場合、往復航空券と宿泊の手配・支払いは派遣生ご自身にしていただき、一時的にこれらの費用を立て替えていただすことになります。

なお、事務手続きに必要な書類が提出されない場合は、不支給又は支給額の全額返還となる場合もございます。

<派遣先>

海外ロー・ファーム（パリ、アムステルダム、ブリュッセル、ソウル等）

台湾法官学院

<応募資格>

以下のいずれかに該当する者

- ① 応募時点で総合法政専攻博士課程に在籍中の者（派遣時点においても総合法政専攻博士課程に在籍中であることが派遣の条件です。）
- ② 2026年3月末に東京大学法科大学院を修了見込みの者＊（2026年3月末に修了したこと、または2025年7月に司法試験を受験したことが派遣の条件です。）
- ③ 2026年7月に東京大学法科大学院に在籍しながら司法試験を受験する予定の者（実際に司法試験を受験したことが派遣の条件です。）

*2025年度の司法試験に合格された方については、2026年3月に修了し、かつ、2026年4月からの司法修習に参加しないなど、本プログラムによる派遣に確実に参加できると見込まれる場合に限り、応募資格があるものとします。

<応募方法>

必ずECCSクラウドメールにログインの上、下記応募フォーム（QRコードよりアクセス可）よりお申込み下さい。

<https://forms.gle/TkmthMqKNfvv7vUD9>

応募締切は、2026年1月13日（火）16:00です。



【入力して頂く項目は次の通りです。応募は一度のみ可能です。送信後の修正はできませんのでご注意ください。】

①氏名②フリガナ③学籍番号④卒業後も連絡のつくメールアドレス⑤性別⑥専攻名・学年 ⑦希望派遣先の有無（希望がある場合は、希望派遣先を選択又は記入してください）⑧語学力を示すデータ（TOEFL、TOEIC、語学検定スコア等・取得時期不問）※この段階で⑧のデータを証明する書類の提出は求めません。⑨ 成績参照の同意】

<選考方法>

1月下旬までに第1次選考通過者にメール（ECCSのアドレス）にて通知いたします。 2026年2月5日（木）17:00以降に第1次選考通過者を対象とした面接（対面）を行い、派遣者および派遣先を決定します。第1次選考通過者には、ご自身の面接時間等を追ってお知らせします。

<派遣実績>

過去の参加者によるレポートは下記サイトからご覧頂けます。
<https://www.ilpd.j.u-tokyo.ac.jp/activities/exchange/>



<お問い合わせ>

Email: b1c※j.u-tokyo.ac.jp（※は@に置き換えてください。）

海外派遣プログラム派遣先・期間（2025）

2025 派遣先	インターン実施期間
Freshfields法律事務所（ブリュッセル）	9/1～9/26
Van Bael & Bellis法律事務所（ブリュッセル）	9/1～9/30
McDermott Will & Schulte法律事務所（パリ）	9/1～9/26
Freshfields法律事務所（ニューヨーク/ワシントンD.C.）	9/2～9/26
Kim&Chang法律事務所（ソウル）	8/18～9/12
台湾法官学院（台湾）	8/2～9/30